

「共同体の主の祈り」

(ルカの福音書 11:1-4)

1. マタイ (6:9-13) とルカ (11:2-4) の違い

- (1) 文脈
 - ① マタイ
山上の説教の中でイエスが群衆に向けて「正しい祈り方」を教える場面。
 - ② ルカ
弟子が「祈りを教えてください」と願ったことへの応答。
- (2) 言葉の違い
 - ① マタイ (6:12) : 負債
 - ② ルカ (11:4) : 罪
- (3) 長さの違い
 - ① 普通は短いものを参考に長いものがつくられる。
 - ② とすると、ルカからマタイがつけられた。しかし、年代はマタイが古い。
 - ③ アラム語からギリシャ語に翻訳される過程で変化

2. ルカの主の祈り (11:1-4)

- (1) 主の祈りの前は？
 - ① 10:25-37 「よきサマリヤ人のたとえ」
 - ② 10:38-42 「マルタとマリヤ」
- (2) 11:1-13 「祈りとは何か？」
 - ① 主の祈り (11:1-4)
 - ② 真夜中の友人 (11:5-8)
 - ③ 求めることと与えること (11:9-13)
- (3) 1-4 節の内容
 - ① 場面設定 (1)
 - ・弟子たちの願い
 - ・ヨハネが教えた祈り
 - ② 父よ (2a)
 - ③ 御名が聖なるものとされますように (2b)
 - ④ 御国が来ますように (2c)
 - ⑤ 私たちの日ごとの糧を、毎日お与えください。 (3)
 - ⑥ 私たちの罪をお赦してください。 (4a)
 - ⑦ 私たちを試みにあわせないでください。 (4b)